

## 令和7年度第1回葛飾区環境審議会 議事録要旨

【日時】令和7年11月26日（水） 午前15時00分～午後17時10分

【会場】かつしかエコライフプラザ2階 研修室

【出席委員】崎田委員、藤野委員、矢後委員、赤澤委員、沢崎委員、下井委員、鳥山委員、武者委員、関委員、湊委員、大川原委員

【欠席委員】竹内委員、島田委員、関根委員、田中委員、菅原委員、池上委員、大友委員

【事務局】木下環境部長、山岸環境課長、新谷みどりと花のフェア担当課長、柿澤リサイクル清掃課長、久保清掃事務所長、秋元建築課長、長谷川、村上、上田

### 【次第】

1 開会

2 議事

- (1) 葛飾区の環境施策と進捗状況の評価について
- (2) 「全国みどりと花のフェアかつしか」について
- (3) 葛飾区一般廃棄物処理基本計画（第4次）改訂版（素案）について
- (4) 葛飾区における3Rの進捗状況について
- (5) ZEH・高断熱住宅の普及促進について

3 閉会

発言者	審議内容
会長	<p><u>1 開会</u></p> <p>それでは、環境審議会になりますけれども、温暖化対策、循環型社会づくり、自然共生と非常に大事な資料がでてきておりますので、皆様からしっかりと意見を伺う大事な日にしたいと思っています。</p> <p>後ほどご説明いただきますけれども、それぞれの議題にしっかりとご意見をいただくようなかたちで進めていきたいと思います。</p> <p>それでは事務局の環境課長から、スタートをお願いいたします。</p>
事務局 (環境課長)	<p>(委員の変更並びに出欠の報告、事務局側職員の紹介、資料の確認を行った。)</p> <p>事務局からの連絡事項は以上です。会長お願いいいたします。</p>
会長	<p>今お話しいただいたように、分厚い資料がしっかりと出ております。</p> <p>全部大事ですけれども、議事1～3の資料は皆様からじっくりご意見をいただく要素が多いですので、時間がかかると思いますけれども、まとめてではなく、資料(議題)一つ一つにご意見をいただくかたちで進めていきたいと思いますがよろしいでしょうか。</p>
	<p>(異議なし)</p> <p>ありがとうございます。ご意見が残っている方は、最後にご意見をお聞きしますので、どの分野でも構いませんのでご意見を頂ければと思います。</p> <p>途中でCOP30から帰国されたばかりの委員の方から、ご報告などあるともいますので、後ほどよろしくお願いいいたします。</p> <p>それでは、資料1の方から入っていきたいと思いますが、事務局のほうからご説明よろしくお願いいいたします。</p>
	<p><u>2 議事</u></p> <p><u>議事(1) 葛飾区の環境施策と進捗状況の評価について</u></p> <p>(資料1に基づき、説明した。)</p> <p>(委員等からの主なご意見は以下のとおり)</p> <p>全体の数字をみると順調に進んでいるように見えるが、最初のページの省エネのところだけ少し数字が下がっている理由について、熱中症対策など大事な視点もございますので、省エネを心がけていると答えた区民の割合が低くなつたのではないかというご説明があった。色々なことを踏まえて今後に向けて皆様のご意見を参考に施策を運営していただければと思う。COP30の話を踏まえて、資料1のご報告に関しても一言いただけたらと思います。</p>

委員	<p>COP30 でも、冷房のエネルギー消費量が増えていくことに対してどうしていくかというパビリオンができており、台湾の NGO がこのテーマでセミナーを開催していたため参加したが、その際、葛飾区が地元の工務店さんと進めているような「省エネで健康な住宅を作っていく」又は「リフォームしていく」というような視点が抜けていた。</p> <p>冷房の需要増加に対して冷房機器の効率を高めていくことも大切だが、実は断熱性・気密性を高め魔法瓶のようにすることで、少しのエネルギーで夏は涼しく冬は暖かくなるため、審議会で学ばせていただいたことをセミナーで少しお話しさせていただいた。</p> <p>COP 翌日の 11 月 22 日に葛飾区主催の「けんこう第一！これからのかつしかの住まい」に参加したが、工務店が勢揃いしていた。普段は競合のため顔を合わせることは少なかったが、一度会うことでネットワークができていた。そこでも、健康づくりは家づくりからというお話があった。</p> <p>資料 1 の P.16 「高反射率塗装・断熱改修」の申請件数について、令和 5 年度に一度件数が減少した後、再び増加しているという説明があったが、このあたりをぜひ強化していってほしい。</p> <p>吹田市の調査で、築年数・在住年数が長い方のエアコンの利用時間は短く、在住年数が少ないほどエアコン利用時間が短いという傾向が出ており、古い家で気密性が低い家に長く住んでいる方の方がエアコンを使っていない状況である。建物の構造があまりにも古いためエネルギーが漏れ出てしまうため、本区の行政でも啓蒙なり助成施策をうまく作って進めていただけたらと思っている。</p>
委員	<p>専門分野の生物多様性について関心を持って拝見しておりました。</p> <p>資料 1 の P.23 にあるように、令和 13 年度の目標数値を既に達成している項目も多く、大変関心が高く積極的にやっているという印象を受けた。</p> <p>自然環境学習に参加する区民の数やフェア開催に向けて緑と花の豊かさを感じる区民の割合が高まっているという点も注目すべき。</p> <p>一方で、外来生物対策が少し課題となっている。費用がかかり目に見えて成果がわかりづらいため、なかなか難しいと思うが、それでも早めに対策を打たなければ手に負えない状況になってからでは遅いため、今後課題になってくると思った。全体的に、取り組みとしては非常に良いのではないかと思っている。</p>
会長	<p>循環型社会のところで申し上げると、数字は目標に近づいており全体非常にしっかりとおられると思うが、先ほど説明であったように、事業系のところでいうと、目標はクリアしているがコロナで一度大きく減ってリバウンドが出るかもしれないと言われ、しっかりとごみを減量させるという方向性で本格的に取り組まなければいけない。</p> <p>23 区の清掃工場もかなり稼働年数が経ってきており、建て替え計画等を立てる時期であるため、皆さんとしっかりとごみ減量に取り組んでいくことが大事。</p>

委員	<p>温暖化対策というところでいうと、区が行政レベルで取り組んできたことが数字に表れてきていて、2年前にドバイに区長が行かれてから一段とギアが上がったような印象を受けている。</p> <p>4年に一度の区長選では4名・区議選65名が立候補したが、広報等で環境施策について言及していた候補者は区議選では青木区長、区議選では2名のみであり、環境施策の関心度合が低く見える。</p> <p>環境・緑化フェアの他に毎年、アリオ亀有でフェアをやらせてもらっていて、そこで区民の方と対話していると、温室効果ガスの排出量が一番多いのは家庭部門であることをご存じない方が多いため、機会を設けて啓蒙活動していく必要がある。外の力を使って連携しながら今後やっていく必要がある。</p>
会長	<p>企業の皆様も、短期的な儲けよりも、社会貢献の気持ちでご協力してくださるところも増えてきている。多くのステークホルダーの方と連携することはとても大事なことだと思う。</p>
委員	<p>外来種について、生物多様性推進協議会の考えを一言申し上げる。小合溜（水元公園内の池）は葛飾区公園課が河川管理者として管理しているが、この数年カミツキガメが出てきている。天敵が少ないため、今いる子ガメが大きくなり1匹あたり30～50個卵を産むことになるため駆除が必要と考えている。</p> <p>東京都が1000万の予算をつけて駆除してくれたが、東京都が管理している一部のみであり、区が管理している部分が大部分であり、むしろカミツキガメの数は増加している。千葉県印旛沼では、毎年3分の1駆除しており、千葉県は全滅させようとは思っておらず、増えた分だけ毎年駆除しており、毎年非常にお金がかかりもったいないため、なるべく早く駆除してほしい。そういうことも環境基本計画の中でもう少し位置づけて「見える化」して管理していくことが必要かと思う。</p>
会長	<p>今回は決めた計画をどのように実施しているかという議論のため、次の見直しの時には大事な話だが、計画の中に入れるかどうかは別として、生物多様性の分野の施策としてはどんどんやっていただくことをご検討いただきたい。</p>
委員	<p>資料1のP.25の令和5年度の一般廃棄物処理実績が大きく増加している理由は何か。</p>
事務局 (環境課長)	<p>記載のとおり3分の1ずつ（令和5年度は上流）を清掃したため。</p>
委員	<p>資料1のP.27に記載の表の目標値に「達成」「維持」と記載されており、数値で示せるならそうしていただきたい。また、傾向を見る上ではグラフの方がわかりやすいので、わかりやすく示していただけるとありがたい。</p>

会長	数値だけより、グラフがあった方がわかりやすいというのは大事な指摘だと思う。全てグラフにするのは大変かと思うが、大事なところだけやっていただくのは今後必要かと思う。
事務局 (環境部長)	<p>資料 1 の P. 27 「大気の環境基準値達成状況」については、下限値を下回っているため測定不能であり、数値でお示しできないためこのような表記にさせていただいている。</p> <p>光化学オキシダントについては、都内の市区町村については残念ながら全て未達成という状況。</p>
会長	<p>長年、中央環境審議会（大気）に参加していたが、そこでも光化学オキシダントだけは達成できないといわれている状況が続いている。</p> <p>達成・未達成のニュアンスをわかりやすくしていただくと、区民の方にもわかりやすい。</p>
事務局 (みどりと花の フェア担当課 長)	<p><u>議事（2）「全国みどりと花のフェアかつしか」について</u></p> <p>(資料 2 に基づき、説明した。)</p> <p>(委員等からの主なご意見は以下のとおり)</p>
会長	<p>「全国みどりと花のフェアかつしか」について、持続可能なイベントをしっかりとやることで、地域の方にも納得していただいて暮らしに繋げていただければ、レガシーにもなるのではないかということで計画を立てていただいている。</p> <p>環境セクションが実施するというご縁で実行委員長をやらせていただいている。資料 2 の実施計画の概要版の方は、内部でもこれを元に進めておられるが、「サステナビリティ戦略（素案）」については、今素案として準備を進めていただいており、1月に決定予定。</p>
委員	<p>キッチンカーは土日のみと伺ったが、今年4月から薬学部の学生が加わり、葛飾キャンパスの学生がかなり増加している。フェア開催時に80万人葛飾区に来場させるという話だったが、この問題について具体的な対策をどのように考えているか。</p> <p>道路の混雑について、金町駅前ではイトヨーカドーの跡地の再開発が進んでおり周辺の道路が狭くなっていて、理科大も警備を総動員して対応している。この状態は、フェアまでに解消されるのか。解消されない場合、どのように歩行者の安全を確保するのか、対策をお聞きしたい。</p>
事務局 (みどりと花の フェア担当課 長)	学食の問題については、学食を経営されている会社と色々とご相談させていただいている状況。対策について、キッチンカーは場所が限られており平日の実施は難しいが、一般的テントによる飲食店をやられたい方がいれば運営いただきたいと思っているので、学食以外の選択肢もあると思っている。

	<p>基本的に学食の利用は 12 時から 13 時がコアタイムと伺っているので、その時間に関してはフェアの来場者の利用はなるべくご遠慮いただくよう会場マップやホームページでご案内していきたいという話を先方としている。</p> <p>道路の混雑の部分では、フェアまでにハードの課題は解消されないと思って いる。我々としては、特に混雑するのは朝一と夕方と想定しており、フェアの開 始は 10 時からと想定しているため、通勤・通学ピークとは少しずれると思って いるが、警備員を配置し、会場への行き・帰りの道は我々でしっかりプランニン グ・誘導して、行き・帰りの人が同じ歩道でバッティングしないような方法を検 討している。誘導等の計画についても、最終的には皆様にお示ししていきたい。</p>
委員	<p>かなり道路が混雑しているため、遠回りだがフェア来場者は商店街ではない別の道を通らせるという対策をしていただけたらありがたい。朝方だけでなく 授業開始時・終了時も混雑するため 1 時間に 1 度は混雑する。その時間で上手く 誘導していただけると、学生としてもありがたい。</p>
会長	<p>運営するときの地域の方とどのように共生していくか。納得しながら一緒に 応援していただけるような形にしていくことがすごく大事なところだと思う。 しっかりと計画を立てて現場でしっかりとご説明するという段取りを踏んでい ければよいと思う。今のお話は、理科大の会場だけではなく全体に言えることだ と思いますので考えていきたいと思う。</p>
委員	質問なのですが、学食は一般の方も普通に入れるのですか。
委員	学食は一般の方も入れる。12 時から 13 時がコアタイムはあるが、コアタイム に入れなかった人が後から入るため、13 時までだと厳しいかもしれない。
委員	そうですね、13 時半までは。私の大学は 12 時から 13 時半まで。入り口で職 員証・学生証を見せないと入れないようにしている。
委員	そのようになると嬉しい。
委員	そのような対策も一つあるかと思う。私の大学は観光名所のようになってい て、結構色々な方が入ってくるので、何年か前からそれをやり始めた。そうしな ければ学生・職員が入れず使えなくなるため、対策の一例としてお話しした。
委員	できれば 14 時からがよい。
会長	そうすると、他の店に行かないとお腹が空いていてもどうにもできないよう に感じる。

委員	商店街に食事処等もあるので、学食以外もご利用いただければ経済発展につながるのではないかと思う。
会長 委員	そのような流れがうまくできるとよい。 学食の入口に看板は貼っているが見てもらえずに入られてしまうため、入口に人が立つようにしている。
委員	学食の問題は前回も出ていたので、もう一度大事な問題として言っていただいたのだと思う。道路も、私の知人が通っていて商店街は混雑しているため、末広小学校の方を通っていると聞いており、申告な問題と感じた。 かつしか花いっぱいのまちづくり協議会の会員で実施している「サロン・ド・花市」を今年度は毎月開催しているが、協議会の会員だけでなく区内で活動している花壇の団体さんとも一緒にやっていくといった試みがある。また、今年度、花壇コンクールが記念すべき10回目を迎えるため、フェアと同時期の開催を考えており、フェアの来場者も皆様も何らかの形でご参加できるような形がないか考えている。
会長	第一は、地域にお住まいの方や活動されている方が開催を喜んでくださり、来場者も喜んで暮らしに生かしてくださるという流れが大事。まずは地元の方にしっかりと広めていただけないとよいと思う。 実行委員長として、皆様のまちがきれいになることや住み良くなることに繋がっていくイベントであることがすごく大事なことであり、そういったことが皆様で共感できるかたちに持っていく。フェアで区民ボランティア方を募集していると思うが、それに応募していただいて楽しんで参加していただくなど、皆様で盛り上がっていただけると嬉しい。
事務局 (リサイクル清掃課長)	<u>議事（3）葛飾区一般廃棄物処理基本計画（第4次）改訂版（素案）</u> <u>議事（4）葛飾区における3Rの推進状況について</u> (資料3・4に基づき、説明した。)  (委員等からの主なご意見は以下のとおり)
会長	資料4について、今、全国で布団は粗大ごみで出るものとして、各自治体で1位か2位の重さであり、それに着手したということで、葛飾区がどのように取り組むのかということを多くの自治体が注目していると感じる。それを踏まえてしっかりと進めていただいて情報提供していただければと思っている。
事務局 (リサイクル清掃課長)	23区の中でも、確かに布団や箪笥等の粗大ごみ排出量は非常に多い。事業者と協定を結びながら進めているところ。東京都もこのような取り組みにご注目され、ご紹介していただいている。今後も情報提供していきたい。

委員	<p>資料3の別紙2「葛飾区一般廃棄物処理基本計画（第4次）改訂版 素案」のP.15「6（1）燃やすごみ」の5行目に記載のある「ゴム・皮革類は0.3%から15.1%に増加した」と記載されているが、大幅に増加している理由は何か。</p> <p>別紙2 P.23「3（1）集積体制の課題」に「集積所の管理や排出マナーに関する課題」と書かれており、別紙1の4「3 収集・運搬・処理・処分の課題」の方にわかりやすく記載されていますが、集積所の管理に課題が出ていることや広報周知が必要であるという話が出てきている。以前もお話をさせていただいたが、行政の廃棄物の収集は我々区民にとって最大の区民サービスである。しかし、集積所の管理レベルの低がり閉鎖せざるを得ない場所も出てきている。</p> <p>一方、協働で集積所の管理を協働で実施し、集積所の方が分別指導している場所もある。ごみの問題を切り口にして非常に大きな行政的課題になってくる。地球温暖化対策にも使えると思うので、より一層深堀していってほしい。デジタルに頼らず、良い管理をしている集積所に関してはアナログで働きかけていくというような使い分けも必要。</p> <p>別紙2 P.30「2（3）①取組への動機づけ」の5行目「今後は、ごみの減量を含めた…（中略）…事業者を引き続き支援し」とある。温暖化関係では従前からこのあたり熱心に支援していただいている、多様な環境への切り口、事業者を支援していくという枠組みに関しては、より一層ご支援いただきたい。</p>
事務局 (リサイクル清掃課長)	<p>一つ目のご質問については、しっかりと分析はしておりませんが、集めたところのサンプル自体の取り方で差異が出たのではないかと考えている。</p>
委員	<p>ゴムの成型加工業者も規模が様々あり、個人営業に近いところは有料ごみ処理券を貼って収集をお願いしているところもあり、そういったところが集中的に出てきてしまえば、比率が上がってしまう。いわゆる「あわせ産廃」の問題があると思う。廃棄物処理法上は、安定型の埋め立て処分になるべきものが、こちらの収集の方にかかってしまうと清掃工場で燃やされてしまうことがあることも充分承知しているので、今後も引き続き情報提供していただければと思う。</p>
事務局 (リサイクル清掃課長)	<p>ご意見をいただいたように、集積所の方で事業系のごみを収集するときには有料ごみ処理券を貼っていただいている。もう少し大量の排出の場合、事業系の廃棄物については、産業廃棄物の他に一般廃棄物も業者に収集いただくことが通常だが、家庭と合わせて事業所をお持ちのような規模の事業者の場合、有料ごみ処理券を貼ってごみを排出していただいている。境界線のところをたまたまサンプルに選んでしまった際に、極端な動きをしてしまう場合が出てしまうのではないか。</p> <p>P.23のご意見、集積所の件につきましては、先ほどおっしゃっていたように、皆さんで管理するというところが、なかなか支えが薄れているところがござります。</p>

	<p>2件に1か所くらいの集積所で管理していただくよう進めているところ。排出指導についても清掃事務所と連携しながら進めていければと思う。</p> <p>P. 30 のご意見、事業者のごみ減量や環境への対策についても、情報提供させていただきながら、評価方法や成果がわかるような方法を検討させていただきながらより一層進めていければと考えている。</p>
会長	支援の仕方はいろいろなやり方があると思うが、事業者の皆様とコミュニケーション取りながら取り組んでいただければと思う。
委員	別紙1の3「2 資源回収量と資源回収率」の資源回収率の分母は何か。
事務局 (リサイクル清 掃課長)	分母については、廃棄物で処理するものと資源として処理をしているもの全体が分母となり、そのうちの資源回収量だけを分子に持ってきてている。
委員	集めたごみのうち資源としてリサイクルするものを資源回収量としているのか。
事務局 (リサイクル清 掃課長)	資源回収量と資源回収率として捉えている。
委員	私は、ごみは「出す」方だけという考えでしたので、資源ごみを「出す」と表記せず、「回収」量というニュアンスに変わっていることがわかりにくかったため、その点の説明を加えていただきたい。
事務局 (リサイクル清 掃課長)	承知しました。清掃工場で焼却してしまうと廃棄物処理ではなく「ごみ」という取り扱いになり、その中でも、例えば紙資源はリサイクルで資源の回収率の分子に入ってくる。
委員	もう一点、区を通さず紙ごみを出しているルートもあるが、そのようなごみはこの数字に含まれているのか。
事務局 (リサイクル清 掃課長)	家庭から出るものに関しては、集団回収で回収していれば含まれている。事業系ごみとして事業者の方に回収していただいているものは含まれていない。
会長	別紙1の「5 計画の目標」のところで、事業系のごみは減っており「揺れ動く数値のため目標値には届いているが、目標値は変更しない」という点についてはやむを得ないと思う。事業者の経営は応援しつつ、ごみは減らしてもらうようなマインドを持ってもらえるよう働きかけられるとよい。

事務局 (リサイクル清 掃課長)	事業者の方へのごみ減量・情報提供についてもできるだけ積極的に行いながら協力を求めていきたい。事業については継続していきたい。
会長	2050年ゼロカーボン、2030年カーボンハーフという動きの中で、ごみに関しても高い目標を掲げ、みんなでバックキャストをして取り組んでいくためには、新しい計画を立てる時にしっかり考えるということが必要かと思う。近頃、大きな目標を立て、今やれることを考えていくような自治体も出てきているため、色々情報共有しながら、最終的に事業者も家庭も無くせるごみは無くしていくという流れでやっていってほしい。
事務局 (リサイクル清 掃課長)	3Rの中でリデュース（ごみを出さなくすること）が一番大事だと思っているが、実際リデュースができるのかということが中々見えにくいため、リサイクルの方に走っていきやすいところがあると思う。リデュースの方に重点を置いていることについて引き続き啓発を行っていきたい。
事務局 (建築課長)	<u>議事（5）ZEH・高断熱住宅の普及促進について</u> (資料5に基づき、説明した)  (委員等からの主なご意見は以下のとおり)
会長	健康を中心にやっていただいている、区民にとってわかりやすい。 行政が言い始めることも大事だが、現実の工務店や設計士の方々が本気になっていただかなければ実現しないため、そのような方たちと一緒にこの行事をやってくださっていることが大変すばらしい流れだと思った。是非キーパーソンの方と一緒に盛り上げていってほしい。
委員	工務店や不動産が推奨してくれなければいけないので、かつしかエコ助成金等区の助成事業や、何年住めば元が取れるというようなグラフ等を掲載すればより魅力的に見えるのではと思う。家を買う人やリフォームする人が不動産に来た際に、本事業を推奨してくれるかどうかだと思う。お金を出すか出さないか判断する時に、元が取れるという情報があればよいのではと思う。
委員	町会の役員会等でも、窓を断熱改修した方がいいという話をよく耳にしており、普及してきていると感じた。
会長	次回、改定版を作る時の提案までいただけた。ぜひ継続していただきたい。
	<u>全体を通して</u>

委員	<p>フェアの安全な運営という点で、駐車場や駐輪場の案内など、安全に向かうようなアナウンスを是非していただきたい。</p> <p>花と緑の方で、最終的にフェア終了時に団体または個人の方にお渡しすることについて、周知・応募方法が決まっていたら教えていただきたい。</p> <p>また、花を配るだけでなく、フェアのテーマに繋がるようなメッセージカードや二次元コードと一緒に配布し、意識啓蒙に繋がればよいと思う。</p> <p>今、縦割りでご説明いただいたが、一区民としてはどのような生活をすれば 2030 年のカーボンハーフの目標達成近づくのか具体的に知りたいため、提案型で具体的な生活モデルとなるヒントが一目でわかるようなものがあるとよい。</p> <p>(例えば、家を作るなら ZEH、家電を買い替えるならゼロエミなど)。</p>
会長	<p>施策としては各部署でやっているが、それが区民一人にとってはどのような生活をしたらよい暮らしになるのか具体的にわかるような発信の仕方が重要。</p> <p>一区民として、普段やっている取組もぜひ発信していただければと思う。</p>
委員	<p>道路の表面温度の上昇への対策として、道路表面にある程度特殊加工をすれば表面温度が下がるといわれているが、実験的にモデルとしてやっていく予定はあるのか。</p>
事務局 (みどりと花の フェア担当課 長)	<p>フェアの安全な運営という面で、基本的には公共交通機関を使っていただきアナウンスを行い、会場内の駐輪場のアナウンスもしっかりと行っていきたい。</p> <p>花の配布方法については検討中。他自治体の場合、フェア期間の最後の方に配る自治体もあれば、フェア終了後の 1 週間の間に取りに来てもらう自治体もある。いつ、どのようにやるかも検討中のため、花を渡すだけにならないようにというご意見を参考にさせていただきながら検討していきたい。</p>
事務局 (環境課長)	<p>カーボンハーフについて、具体的なビジョンは行政側から色々サジェストしていければと思っているが、最終的には環境は一人一人が作っていくものと思っている。普及啓発も含めて、区全体でどのようなやり方がよいか色々探っていくながら広めていければよいと思っている。具体的にどうやれば環境に良い生活ができるのかできる限り研究して発信していきたいと考えている。</p> <p>道路の温度の件について、区内ではまだ取り組んでおりませんが、色々研究を進めながらできることは進めていきたいと考えている。</p>
会長	<p>多様なステークホルダーとの連携し地域と共生していくなど、皆様で一緒になって取り組んでいくことの大切さは共有できたかと思う。一つ一つの意見に関しては、事務局の方で整理して受け止めていただけたらと思う。</p>
事務局 (環境部長)	<p>我々の施策もわかりやすく説明し、皆様のご意見を生かしながら進めていきたい。今回 COP30 や NHK でも言われているとおり、このままでは気候変動と</p>

	<p>いう切り口だけではなく我々の生活全般が破綻していく。もっと危機感を持っていかなくてはならないということは常に思っており、そういった意味でも我々自治体としてできること、地域の脱炭素をどう進めていくのかそういったところも視点に踏まえながらこれからも進めていきたいと思う。</p> <p><u>7 閉会</u></p> <p>事務局 (環境課長)</p> <p>今回、委員の皆様からいただきましたご意見等につきましては、発言者の氏名を伏せた形で議事要旨としてとりまとめ、ホームページに公開させていただきます。</p> <p>次回の葛飾区環境審議会ですが、開催は来年2又は3月頃を予定しております。詳細な日時・場所が決まりましたら、書面にて通知させていただきます。環境審議会委員の皆様の任期が3年のため、令和8年3月22日をもって任期満了となります。各団体に改めて委員の推薦をお願いして参りたいと思っておりますので、準備が整い次第委員の推薦のお願いをさせていただきますので、よろしくお願い申し上げます。</p> <p>事務局からの連絡は以上です。</p> <p>これをもちまして、令和7年度第1回葛飾区環境審議会を終了いたします。本日はありがとうございました。</p>
--	---